



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社  
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二  
(コード番号 5660 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役総務本部長兼同総務部長兼  
企画部長  
吉 田 裕 彦  
(TEL 06-6411-1051)

(訂正)「平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 2 月 8 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 27 年 11 月 10 日付「平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 晃二  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06-6411-1051  
 兼総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,565	3.8	853	86.1	417	47.3	94	△0.7
27年3月期第2四半期	14,027	2.2	458	△3.7	283	△29.9	95	△52.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 116百万円(△41.9%) 27年3月期第2四半期 201百万円(△24.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第2四半期	1.82	—	—	—
27年3月期第2四半期	1.82	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	43,488	—	19,020	—	35.8	—
27年3月期	43,998	—	19,112	—	35.6	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 15,577百万円 27年3月期 15,663百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00	—
28年3月期	—	2.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,000	4.4	1,800	48.5	1,200	35.9	600	142.9	11.52	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	58,698,864株	27年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,656,018株	27年3月期	6,648,503株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	52,046,632株	27年3月期2Q	52,062,619株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 参考	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和・財政政策等から、企業収益や雇用環境は改善傾向にありますが、中国経済をはじめとする海外経済の下振れのリスク等により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では昨年度に引き続き工事開始の遅延等が顕著となる中、諸資材やエネルギーコストの上昇の影響もあり厳しい状況で推移しましたが、民間投資関連需要では一部で持ち直しの動きが見られました。

このような状況に対して、当社グループでは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図ってまいりました。また、諸資材やエネルギーコストの上昇等に対しては、販売価格の是正に努めるとともに収益改善活動等を引き続き推進し、競争力強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,565百万円と前年同期に比べ3.8%の増収となり、営業利益は853百万円（前年同期比394百万円増加）、経常利益は417百万円（前年同期比134百万円増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（前年同期並み）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品) 公共事業関連では、人手不足による入札不調や用地買収の遅れによる工事開始の遅延等の影響が顕著となる中、工事発注も出足は低調に推移しました。一方で、民間投資関連では、倉庫物件で工事進捗に遅れが生じたものの、マンション向け需要は比較的堅調に推移しました。全体としては、前年同期に比べ販売数量は減少したものの、高付加価値製品の増加により売上金額は微増となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車産業向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）は、国内および中国向けでの販売数量減を北米向けにてカバーしたため、前年同期に比べ販売数量は減少したものの、前年同期並みの売上金額となりました。また、OA機器関連製品・家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線は、需要減に伴い販売数量は減少しましたが、円安に伴う価格改善等があり、前年同期に比べ売上金額については微減にとどまりました。

ステンレス鋼線は、主要分野である住宅関連需要での在庫調整等による影響を受け、前年同期に比べ販売数量、売上金額ともに減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は7,057百万円と前年同期並みとなり、営業利益は448百万円と前年同期に比べ218百万円の増加となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は慢性的な人手不足による工事遅延はあるものの、比較的堅調に推移しました。その結果、国内向けの販売は前年同期に比べ販売数量、売上金額とも増加となりました。輸出については中国の景気減退はあるものの円安を背景に前年同期並の売上金額を確保しました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は6,721百万円と前年同期に比べ4.6%増加となり、営業利益は386百万円と前年同期に比べ50百万円の増加となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

橋梁・建築向け吊構造用ケーブルの売上金額は前年同期に比べ増加しました。落橋防止ケーブルの売上金額は前年同期に比べ若干減少しましたが、高速道路の二重安全対策や道路騒音防止関連製品の売上金額は前年同期に比べ増加しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は755百万円と前年同期に比べ44.4%増加となり、営業損益は6百万円の損失（前年同期は132百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ31百万円、24百万円と前年同期並みとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、509百万円減少の43,488百万円となりました。これは主として投資有価証券の減少によるものです。

負債は、417百万円減少の24,467百万円となりました。これは主としてその他流動負債の減少によるものです。

純資産は、92百万円減少の19,020百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は35.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、平成27年9月8日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,807	8,057
受取手形及び売掛金	8,189	7,835
商品及び製品	3,664	3,699
仕掛品	2,453	2,609
原材料及び貯蔵品	1,835	1,731
繰延税金資産	328	327
その他	714	709
貸倒引当金	△42	△41
流動資産合計	24,951	24,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,939	3,851
機械装置及び運搬具（純額）	4,434	4,527
工具、器具及び備品（純額）	164	170
土地	6,031	6,031
リース資産（純額）	68	54
建設仮勘定	306	187
有形固定資産合計	14,945	14,823
無形固定資産	244	257
投資その他の資産		
投資有価証券	1,497	1,193
長期貸付金	110	—
繰延税金資産	1,074	1,097
その他	1,215	1,231
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	3,855	3,479
固定資産合計	19,046	18,559
資産合計	43,998	43,488



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,719	<u>2,760</u>
短期借入金	7,856	7,858
リース債務	33	29
未払費用	<u>1,139</u>	1,108
未払法人税等	309	325
賞与引当金	561	564
その他	<u>1,050</u>	<u>464</u>
流動負債合計	<u>13,670</u>	<u>13,113</u>
固定負債		
長期借入金	6,634	6,682
リース債務	50	37
役員退職慰労引当金	53	53
環境対策引当金	9	13
退職給付に係る負債	3,720	3,764
繰延税金負債	454	450
その他	291	351
固定負債合計	<u>11,214</u>	<u>11,354</u>
負債合計	<u>24,885</u>	<u>24,467</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	<u>2,522</u>	<u>2,460</u>
自己株式	$\Delta$ 1,358	$\Delta$ 1,359
株主資本合計	<u>15,580</u>	<u>15,518</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113	74
為替換算調整勘定	195	178
退職給付に係る調整累計額	$\Delta$ 225	$\Delta$ 194
その他の包括利益累計額合計	82	59
非支配株主持分	<u>3,449</u>	<u>3,443</u>
純資産合計	<u>19,112</u>	<u>19,020</u>
負債純資産合計	<u>43,998</u>	<u>43,488</u>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,027	14,565
売上原価	11,281	11,384
売上総利益	2,745	3,181
販売費及び一般管理費	2,286	2,328
営業利益	458	853
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	14	17
固定資産賃貸料	23	23
貸倒引当金戻入額	1	0
その他	16	8
営業外収益合計	79	71
営業外費用		
支払利息	85	68
持分法による投資損失	67	356
その他	100	82
営業外費用合計	254	507
経常利益	283	417
税金等調整前四半期純利益	283	417
法人税、住民税及び事業税	149	298
法人税等調整額	△6	△24
法人税等合計	142	274
四半期純利益	140	143
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	95	94

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	140	<u>143</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△41
為替換算調整勘定	△1	1
退職給付に係る調整額	35	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△17
その他の包括利益合計	60	△26
四半期包括利益	201	<u>116</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155	<u>71</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	45	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,046	6,426	523	13,996	31	14,027	—	14,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	374	115	29	519	—	519	△519	—
計	7,420	6,541	552	14,515	31	15,546	△519	14,027
セグメント損益	230	336	△132	434	23	458	—	458

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,057	6,721	755	14,534	31	14,565	—	14,565
セグメント間の内部売上高 又は振替高	697	210	9	917	—	917	△917	—
計	7,754	6,932	765	15,451	31	15,482	△917	14,565
セグメント損益	448	386	△6	828	24	853	—	853

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

#### 4. 参考

平成27年3月期決算及び平成28年3月期通期予想（連結）

##### （1）業績の概要

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
売上高	14,027	28,727	14,565	30,000	538	1,272
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	7,046	14,394	7,057	14,500	11	105
2. 鋼索関連事業	6,426	13,016	6,721	13,440	295	423
3. エンジニアリング関連事業	523	1,254	755	2,000	232	745
4. その他	31	62	31	60	—	△2
営業利益	458	1,220	853	1,800	394	579
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	230	721	448	900	218	178
2. 鋼索関連事業	336	628	386	800	49	171
3. エンジニアリング関連事業	△132	△177	△6	60	126	237
4. その他	23	47	24	40	0	△7
経常利益	283	886	417	1,200	134	313
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	95	285	94	600	△1	314
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	1.82	5.48	1.82	11.52	△0.01	6.03

##### （2）設備投資及び減価償却費

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
設備投資	451	1,228	404	1,450	△47	221
減価償却費	490	988	511	1,040	20	51

##### （3）キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	576	2,599	1,239	3,800	662	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	△1,272	△515	△1,850	△72	△577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△807	△3,027	△175	△1,650	631	1,377
現金及び現金同等物の期末残高	8,529	7,506	8,055	7,806	△473	300

##### （4）有利子負債及び金融収支

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
有利子負債	16,589	14,491	14,541	13,200	△2,047	△1,291
金融収支	△47	△109	△28	△100	18	9

(訂正前)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 晃二  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06-6411-1051  
 兼総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,552	3.7	856	88.4	420	48.4	96	1.4
27年3月期第2四半期	14,027	2.2	454	△2.5	283	△28.1	95	△52.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 118百万円(△40.9%) 27年3月期第2四半期 201百万円(△24.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第2四半期	1.85	—	—	—
27年3月期第2四半期	1.82	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	43,672	—	19,218	—	36.1	—
27年3月期	44,197	—	19,308	—	35.9	—

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 15,774百万円 27年3月期 15,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00	—
28年3月期	—	2.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	30,000	4.4	1,800	48.5	1,200	35.9	600	142.9	11.52	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	58,698,864株	27年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	6,656,018株	27年3月期	6,648,503株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	52,046,632株	27年3月期2Q	52,062,619株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 参考	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和・財政政策等から、企業収益や雇用環境は改善傾向にありますが、中国経済をはじめとする海外経済の下振れのリスク等により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では昨年度に引き続き工事開始の遅延等が顕著となる中、諸資材やエネルギーコストの上昇の影響もあり厳しい状況で推移しましたが、民間投資関連需要では一部で持ち直しの動きが見られました。

このような状況に対して、当社グループでは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図ってまいりました。また、諸資材やエネルギーコストの上昇等に対しては、販売価格の是正に努めるとともに収益改善活動等を引き続き推進し、競争力強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,552百万円と前年同期に比べ3.7%の増収となり、営業利益は856百万円（前年同期比401百万円増加）、経常利益は420百万円（前年同期比137百万円増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96百万円（前年同期比1百万円増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです。

#### <特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品) 公共事業関連では、人手不足による入札不調や用地買収の遅れによる工事開始の遅延等の影響が顕著となる中、工事発注も出足は低調に推移しました。一方で、民間投資関連では、倉庫物件で工事進捗に遅れが生じたものの、マンション向け需要は比較的堅調に推移しました。全体としては、前年同期に比べ販売数量は減少したものの、高付加価値製品の増加により売上金額は微増となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車産業向けの弁ばね用鋼線(オイルテンパー線)は、国内および中国向けでの販売数量減を北米向けにてカバーしたため、前年同期に比べ販売数量は減少したものの、前年同期並みの売上金額となりました。また、OA機器関連製品・家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線は、需要減に伴い販売数量は減少しましたが、円安に伴う価格改善等があり、前年同期に比べ売上金額については微減にとどまりました。

ステンレス鋼線は、主要分野である住宅関連需要での在庫調整等による影響を受け、前年同期に比べ販売数量、売上金額ともに減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は7,044百万円と前年同期並みとなり、営業利益は449百万円と前年同期に比べ219百万円の増加となりました。

#### <鋼索関連事業>

ワイヤロープの国内需要は慢性的な人手不足による工事遅延はあるものの、比較的堅調に推移しました。その結果、国内向けの販売は前年同期に比べ販売数量、売上金額とも増加となりました。輸出については中国の景気減退はあるものの円安を背景に前年同期並の売上金額を確保しました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は6,721百万円と前年同期に比べ4.6%増加となり、営業利益は388百万円と前年同期に比べ55百万円の増加となりました。

#### <エンジニアリング関連事業>

橋梁・建築向け吊構造用ケーブルの売上金額は前年同期に比べ増加しました。落橋防止ケーブルの売上金額は前年同期に比べ若干減少しましたが、高速道路の二重安全対策や道路騒音防止関連製品の売上金額は前年同期に比べ増加しました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は755百万円と前年同期に比べ44.4%増加となり、営業損益は6百万円の損失(前年同期は132百万円の損失)となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ31百万円、24百万円と前年同期並みとなりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、525百万円減少の43,672百万円となりました。これは主として投資有価証券の減少によるものです。

負債は、435百万円減少の24,453百万円となりました。これは主としてその他流動負債の減少によるものです。

純資産は、90百万円減少の19,218百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は36.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の業績予想につきましては、平成27年9月8日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,807	8,057
受取手形及び売掛金	8,189	<u>7,820</u>
商品及び製品	3,664	3,699
仕掛品	2,453	2,609
原材料及び貯蔵品	1,835	1,731
繰延税金資産	<u>329</u>	327
その他	<u>575</u>	<u>569</u>
貸倒引当金	△42	△41
流動資産合計	<u>24,813</u>	<u>24,774</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,939	3,851
機械装置及び運搬具（純額）	4,434	4,527
工具、器具及び備品（純額）	164	170
土地	6,031	6,031
リース資産（純額）	68	54
建設仮勘定	306	187
有形固定資産合計	<u>14,945</u>	<u>14,823</u>
無形固定資産		
244		257
投資その他の資産		
投資有価証券	1,497	1,193
長期貸付金	110	—
繰延税金資産	<u>1,412</u>	<u>1,434</u>
その他	1,215	1,231
貸倒引当金	△41	△41
投資その他の資産合計	<u>4,193</u>	<u>3,816</u>
固定資産合計	<u>19,384</u>	<u>18,897</u>
資産合計	<u>44,197</u>	<u>43,672</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,719	2,745
短期借入金	7,856	7,858
リース債務	33	29
未払費用	1,143	1,108
未払法人税等	309	325
賞与引当金	561	564
その他	1,050	465
流動負債合計	13,674	13,099
固定負債		
長期借入金	6,634	6,682
リース債務	50	37
役員退職慰労引当金	53	53
環境対策引当金	9	13
退職給付に係る負債	3,720	3,764
繰延税金負債	454	450
その他	291	351
固定負債合計	11,214	11,354
負債合計	24,889	24,453
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,717	2,657
自己株式	△1,358	△1,359
株主資本合計	15,776	15,715
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113	74
為替換算調整勘定	195	178
退職給付に係る調整累計額	△225	△194
その他の包括利益累計額合計	82	59
非支配株主持分	3,449	3,443
純資産合計	19,308	19,218
負債純資産合計	44,197	43,672

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,027	14,552
売上原価	11,274	11,369
売上総利益	2,752	3,183
販売費及び一般管理費	2,297	2,327
営業利益	454	856
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	14	17
固定資産賃貸料	16	23
貸倒引当金戻入額	1	0
その他	16	8
営業外収益合計	72	71
営業外費用		
支払利息	85	68
持分法による投資損失	67	356
その他	89	82
営業外費用合計	243	507
経常利益	283	420
税金等調整前四半期純利益	283	420
法人税、住民税及び事業税	149	298
法人税等調整額	△6	△23
法人税等合計	142	275
四半期純利益	140	145
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	95	96

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	140	<u>145</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	△41
為替換算調整勘定	△1	1
退職給付に係る調整額	35	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△17
その他の包括利益合計	60	△26
四半期包括利益	201	<u>118</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155	73
非支配株主に係る四半期包括利益	45	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,046	6,426	523	13,996	31	14,027	—	14,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	374	115	<u>1</u>	<u>491</u>	—	<u>491</u>	<u>△491</u>	—
計	7,420	6,541	<u>524</u>	<u>14,487</u>	31	<u>14,518</u>	<u>△491</u>	14,027
セグメント損益	230	<u>332</u>	△132	<u>430</u>	23	<u>454</u>	—	<u>454</u>

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	<u>7,044</u>	6,721	755	<u>14,521</u>	31	<u>14,552</u>	—	<u>14,552</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	697	210	9	917	—	917	△917	—
計	<u>7,741</u>	6,932	765	<u>15,438</u>	31	<u>15,469</u>	△917	<u>14,552</u>
セグメント損益	<u>449</u>	<u>388</u>	△6	<u>831</u>	24	<u>856</u>	—	<u>856</u>

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。



#### 4. 参考

平成27年3月期決算及び平成28年3月期通期予想（連結）

##### （1）業績の概要

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
売上高	14,027	28,727	14,552	30,000	525	1,272
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	7,046	14,394	7,044	14,500	△2	105
2. 鋼索関連事業	6,426	13,016	6,721	13,440	295	423
3. エンジニアリング関連事業	523	1,254	755	2,000	232	745
4. その他	31	62	31	60	—	△2
営業利益	454	1,212	856	1,800	401	587
セグメント別内訳						
1. 特殊鋼線関連事業	230	719	449	900	219	180
2. 鋼索関連事業	332	622	388	800	55	177
3. エンジニアリング関連事業	△132	△177	△6	60	126	237
4. その他	23	47	24	40	0	△7
経常利益	283	882	420	1,200	137	317
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	95	247	96	600	1	352
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	1.82	4.74	1.85	11.52	0.02	6.77

##### （2）設備投資及び減価償却費

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
設備投資	451	1,228	404	1,450	△47	221
減価償却費	490	988	511	1,040	20	51

##### （3）キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	576	2,599	1,239	3,800	662	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△443	△1,272	△515	△1,850	△72	△577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△807	△3,027	△175	△1,650	631	1,377
現金及び現金同等物の期末残高	8,529	7,506	8,055	7,806	△473	300

##### （4）有利子負債及び金融収支

（単位：百万円）

	平成27年3月期		平成28年3月期		対前年同期比較	
	第2四半期実績	通期実績	第2四半期実績	通期予想	第2四半期	通期
有利子負債	16,589	14,491	14,541	13,200	△2,047	△1,291
金融収支	△47	△109	△28	△100	18	9